

しばらくの間、浜松基地から爆音が消える――

基地の町 爆音消えて おらが町

――この静けさをいつまでも！

※浜松基地では、四月から十一月までの八ヶ月間、AWACS専用の格納庫や、滑走路の拡張工事のため、ジェット戦闘機の飛行訓練が中止され、静かな空が戻ってくるそうです。

◎爆音轟く浜松基地周辺の住民は、どんな状態の中におかれているかご存じでしょうか？ つらい毎日の様子を「川柳」にしてみました。

*爆音に電話の声のかき消され

*爆音にテレビはしばしばパントマイム

*腸をえぐって飛び去る戦闘機

*爆音に耳ふさぐくせいつかでき

*爆音に火のつくように泣き出す子

*爆音に泣き出すわが子抱きかかえ

◎ジェット戦闘機の爆音が空から消えて、静けさとやすらぎが戻ったら、どんなにすばらしいだろうと基地周辺の住民は思います。ところが、その静けさが八ヶ月間だけ戻るといいます。私たちは、その静けさがいつまでも続くことを願っています。

*忘れてたこの静けさをいつまでも（もう戦闘機は飛ばないで！）

*この夏は爆音消えて昼寝増え（ゆっくり昼寝ができそうだ！）

*静けさや昼寝の乳飲み子やすやすと

*爆音の消えしこの夏蝉しぐれ

*爆音が消えていつしか病癒ゆ（難聴、イライラ病がいつしか治ったぞ！）

◎基地も、ジェット機も、AWACSも、すべて戦争の道具です。殺人の道具や設備が浜松市のど真ん中で拡大強化されつつあります。宣伝に騙されず、良心の声に耳を傾けましょう。

*子や孫に遺す遺産は基地の害（こんなもの遺して良いのでしょうか？）

*招かざるAWACSなら追い返せ（市長は招かざる客と言ったが本音は？）

*音楽の町が泣いてる基地強化（AWACSは音楽の町にふさわしくない！）

*良心はうめいて叫ぶノー・エーワックス

※平和を愛する市民の皆さん、浜松基地へのAWACS配備を阻止し、基地強化にストップをかけ、浜松市を人間にふさわしい町にしましょう！

一九九七年三月九日（日）第三六一回・憲法を守る平和行進

浜松市憲法を守る会

事務局

浜松市紺屋町三〇一・十五